

「事業名:モビリティ・イノベーション社会実装・産業創生国際拠点の構築」 2020年度補助事業の成果・実績

東北大学（共同申請校:東京大学、明治大学） 連携市町村:南相馬市、浪江町
現地拠点: 福島県南相馬市原町区萱浜新赤沼83 福島ロボットテストフィールド 研究棟 研究室12

事業のポイント

福島浜通り地域に次世代モビリティ(自動運転、EV、コネクテッドモビリティ、新サービス(いわゆるCASE))の研究実証・地域実装の推進拠点を整備し、全国大学のネットワーク(モビリティ・イノベーション連携会議等)により産学共創による研究集積・実証実験・社会実装・産業創出、およびそのための人材育成を推進し、さらに将来的には国際的な研究拠点への発展を目指していく。

2020年度の活動実績

○教育活動

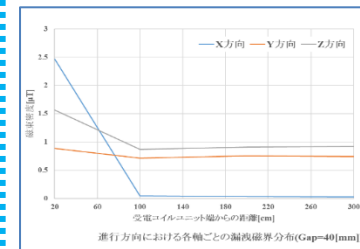
- 1 月例セミナー開催: 7/2~再開, 9回オンラインにて地域ニーズに応じたテーマ設定で実施
- 2 次世代モビリティIoT人材のOJT育成: コロナにより実施困難, 今後着手に向けて活動

○研究活動

- 1 実証用PF車両の機能強化: 東北大製Li電池への換装, 非接触給電検証, RTK-GNSS検証
- 2 先進IT・IoT化環境構築: 200V供給検討, 拠点常設化, GNSS基地局設置提案, 5G端末導入
- 3 ITSデータセンター拡充: 浜通り3次元地図データ計測(RTF, 原町, 小高, 浪江, 双葉)
- 4 非接触給電等によるエネルギー・モビリティ統合システム研究開発: 非接触給電漏洩磁界分布計測
- 5 モビリティ・イノベーション連絡会議開催その他: コロナによりリアル開催中止, 東大・須田教授のみ来訪

○地域課題解決活動

- 1 WRS等に計画イベント等対応: WRS1年延期も, 地域交通検討は着実に前進
- 2・3 周辺市町村における課題ヒアリング, 周辺交通検討 南相馬市:小高区における検討・農学分野連携, 浪江町:経産省スマモビ実証, 双葉町:明治大学との連携・3次元データ計測に関する取組 福島浜通りにおけるロボットベンチャーへのLi電池提供



今年度の成果

- 新型コロナ影響による計画変更の中, 月例セミナーオンライン化, 隣県による計画推進
- 浜通り国際教育研究拠点に向けた進展
- 「バーチャル浜通り」の構築, デジタルデータ利活用に向けた検討着手
- 実証車両の機能強化, 実証環境の拡充 → 地域への次世代モビリティ実装に向けた進展

